

教科	国語	社会	地図帳	算数	理科	生活	音楽
発行者	光村図書	日本文教出版	帝国書院	東京書籍	大日本図書	啓林館	教育芸術社
採択理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学教材は、人との交流他者理解をテーマに、それらの大切さを感じられる題材が選ばれている。また、中学年から、平和や命について扱う教材が選ばれている。</li> <li>説明文は児童が興味関心を持ちやすい身近な事象を取り上げ、科学的・論理的なものの見方や考え方ができるように配慮されている。また、おなじみ文章構成の題材が短いものと長いもの対になっているので、説明文を読み取る練習ができる。</li> <li>読むことについて、児童の心に残る作品が精選されている。読み味わうことや段落構成から筆者の主張などの読み取りができる。</li> <li>書くことについては、自分の考えが主体的にもてるような、工夫や配慮がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表紙には活動中の子どもや学習内容の写真があり、子どもの興味関心をひくものである。</li> <li>大単元ごとに、「学習のまど」の形でめあてが示されている。</li> <li>毎時間の学習課題が、キャラクターの疑問の形で示されている。</li> <li>小単元末の「ふりかえってみよう」で様々な表現活動を紹介します。その活動を促している。大単元末の「大きくジャンプ」では、発展的な課題が示されている。</li> <li>重要な用語が太字で示され、一見してその用語を認識できる。また、特に重要な用語については、「キーワード」として、横の欄に特記している。</li> <li>文字や資料が鮮明で見やすい。</li> <li>県内の企業や事例が扱われており、見学調査が容易に行える。子どもたちが身近なものとして考えることができる等、効果的な学習が期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>判型がA B版で、教科書と同じであるため、扱いやすい。</li> <li>濃淡の差が大きい。高いところと低いところが見分けやすい。</li> <li>男の子と女の子のキャラクターが問いかけ形式で会話をしている。</li> <li>世界の地域別の地図と合わせて国旗が示されている。</li> <li>日本の気候については、気温（8月と2月）と雪の多いところを挙げている。</li> <li>様々な情報を入れた地図やグラフ、図は若干小さく見にくいですが、いろいろな種類が掲載されており、情報量が豊富である。</li> <li>「日本の歴史」のページでは、旧国名の地図と現在の地図が並べられており、見比べられる。旧国名がついた主な産物や世界文化遺産の写真が配置されている。江戸時代の航路や主な出来事と並べた年表なども入れている。</li> <li>「世界の国別統計」の国の数が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材に入る段階で、既習事項を思い出させるようなページがある。</li> <li>6年生の上下の教科書が一冊になっている。</li> <li>カラーユニバーサルデザインによる配色と字体、色使いの工夫が見やすくわかりやすい。</li> <li>活動しやすいようにブロックを置くスペースを幅広くとっている。</li> <li>単元の構成がスパイラルになっており、子どもの実態に合っている。</li> <li>他教科の単元と関連付けで構成されている。</li> <li>解決の方法を複数掲載し、比較しやすくなっている。</li> <li>レイアウトでの配慮として、問題やまとめを枠囲みや文節改行の徹底、ページ番号の処理など、様々な子どもに配慮したものになっている。</li> <li>単元ごとにイラストが変わり、子どもの興味関心や学習への意欲を高めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵や図が多く、実験の方法や準備物まで丁寧に示されている。実際の写真が多く掲載されており、子どもの興味・関心を高めるものとなっている。</li> <li>学習指導要領に明記されている各学年での目標を強調して示している。(例5年：条件制御) また学年に応じた一連の学び方、演繹的授業展開が示されている。</li> <li>実験結果の記録の書き方も例示されており、ノート指導の一助となる。</li> <li>上下刊統合し、学年1冊なので扱いやすい。</li> <li>資料が豊富である。</li> <li>最後のページに次の学年で学ぶことが紹介されており、問題やまとめを枠囲みや文節改行の徹底、ページ番号の処理など、様々な子どもに配慮したものになっている。</li> <li>3年生の教科書には、考えるシールという付録がついており、単元の最後に確認を行うたしかめようの問題で実際に操作しながら理解させられる。</li> <li>学んだことを生かそうのページでこれまでの学習を日常生活での事象を科学的に説明できる力の育成にも力を入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各題材のページには観察記録カード等の記録用紙の書き方、活動の仕方などの例示があり、低学年の子どもにとってわかりやすく参考になる。</li> <li>たんけんブックは、野外での活動時に持ち運びやすい大きさであり、観察の視点が明示してあり子どもの学習への配慮が行き届いている。さらに、首からかけて調べやすいように穴が開けられ、その向きも工夫されている。</li> <li>教科書の巻末には、低学年の子どもたちに必要な道具の使い方、片付け方に関するページがある。</li> <li>探しに行くページ、生き生き元気に活動するページ、伝え合うページ、チャレンジのページが分かれており、活動の内容が指導事項と一致する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6年間を通して段階的、系統的に学習できるように題材が配列されており、学校や子どもの実態に応じて年間指導ができるように構成されている。</li> <li>歌唱教材は子どもの心情に直接訴えかけるような曲が取り上げられている。特に高学年において和声の響きを楽しめる合唱曲が豊富に掲載されている。</li> <li>多種多様な音楽にふれられる鑑賞曲が、学年や題材に応じて設定されており、感じ取ったことを話し合えるよう配慮されている。</li> <li>「音や音楽をつくる学習」として、音楽づくりのページがあり、身の回りの音で即興的に表現したり、音を音楽に構成したりしながら、音楽の仕組みを生かした活動ができるようになっており、ともに1つの音楽をつくる「協同」の学習活動ができるように配慮されている。</li> <li>巻末に「歌いつごう日本の歌」「みんなが楽しく」のページがあり、将来にわたって愛唱できる曲や、学校や子どもの実態に応じて弾力的に扱うことができる曲が取り上げられている。</li> </ul>

教科	図画工作	家庭	体育	書写
発行者	日本文教出版	開隆堂	学研	光村図書
採択理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の副題は「わくわくするね」「思いをこめて」「ゆめを広げて」等、抽象的な表現でありながら仲間への意識や、意欲面が強調されている。</li> <li>目次は見やすく、各題材の内容も明示されている。</li> <li>作品のみでは無く、活動の様子や仕組みについて写真・図で多くの資料が掲載されている。写真の発色も良く、わかりやすい。</li> <li>各題材の概要が言葉によって端的に示されており、指導における4観点が示されている。</li> <li>各題材の意図を主頁に明記している。</li> <li>図工室以外の場所や日常生活で用いる道具などを対象とした題材が多く、内容も充実している。</li> <li>各題材の4観点が示され、題材の意図や指導の内容を読み取りやすい。題材数が少ないにも関わらず、頁数を多く使い各題材の内容・性格をわかりやすく示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>裏表紙に、教科書内で扱う野菜の切り方が14種類写真で示されており、調理実習の際に活用しやすい。また、衛生面でも配慮されている。</li> <li>「家庭科でよく使われる用語」がまとめられており、辞書のようにひくことができる。</li> <li>「チャレンジコーナー」は、学習したことを生活に活かしたり、発展的な活動へ繋げたりするヒントが書かれており、家庭での実践に活かすことができる。</li> <li>包丁の取り扱い方や包丁を持つ姿勢は、本校の考え方と同じスタンスであり、指導ししやすい。</li> <li>防災に備える内容があり、子どもたちの意識向上に効果的である。</li> <li>他教科との関連が、詳しく示されており、既習事項を思い出させたり、想像をさせたりしやすい。</li> <li>「学習のめあて」「できたかな」「振り返ろう・生かそう」が各単元の中に設定され、目標とする能力や態度を育成する上で有効である。</li> <li>確認作業が必要であると思われる大切な工程には、チェックができるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目が学習課題の提示、学習方法や資料などの提示、まとめ、活用というように構成されている。また、自分のよいところを友だちと共に発見したり、気持ちを伝え合う場面を設定したりして、協同的に学べるように工夫されている。</li> <li>チェック方式で自分自身の生活に目を向けられたり、自分の考えや友だちへの声かけの仕方を記述したりするなど、自主的に学習できる内容となっている。</li> <li>版型はA4版で目次や凡例はイラストやマークを用い、使用上の便宜を与え、必要に応じて適切に用意されている。</li> <li>思春期の悩みについて、児童の事例とスクールカウンセラーのアドバイスを紹介することにより、身近なものとして感じられるよう工夫されている。</li> <li>喫緊の課題である防災に関する学習内容が取り上げられており、関心を持って学習することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末資料が充実している。</li> <li>字を書くときの姿勢や鉛筆の持ち方、毛筆を始める学年では姿勢、筆の持ち方、用具の扱い方を詳しく説明してある。</li> <li>絵や写真、言葉でわかりやすく説明してある。</li> </ul>